

地域における

口腔ケアネットワークの必要性

病院にいる時から(入院時から)、地域で口に関わる多職種ネットワークができていたら、どんなに安心か。

口から食べることの支援と誤嚥性肺炎の予防のために安心のネットワークがほしい。

病院の専門スタッフにとっても退院後、どうなっているか。まったく、その後が、見えてこない。

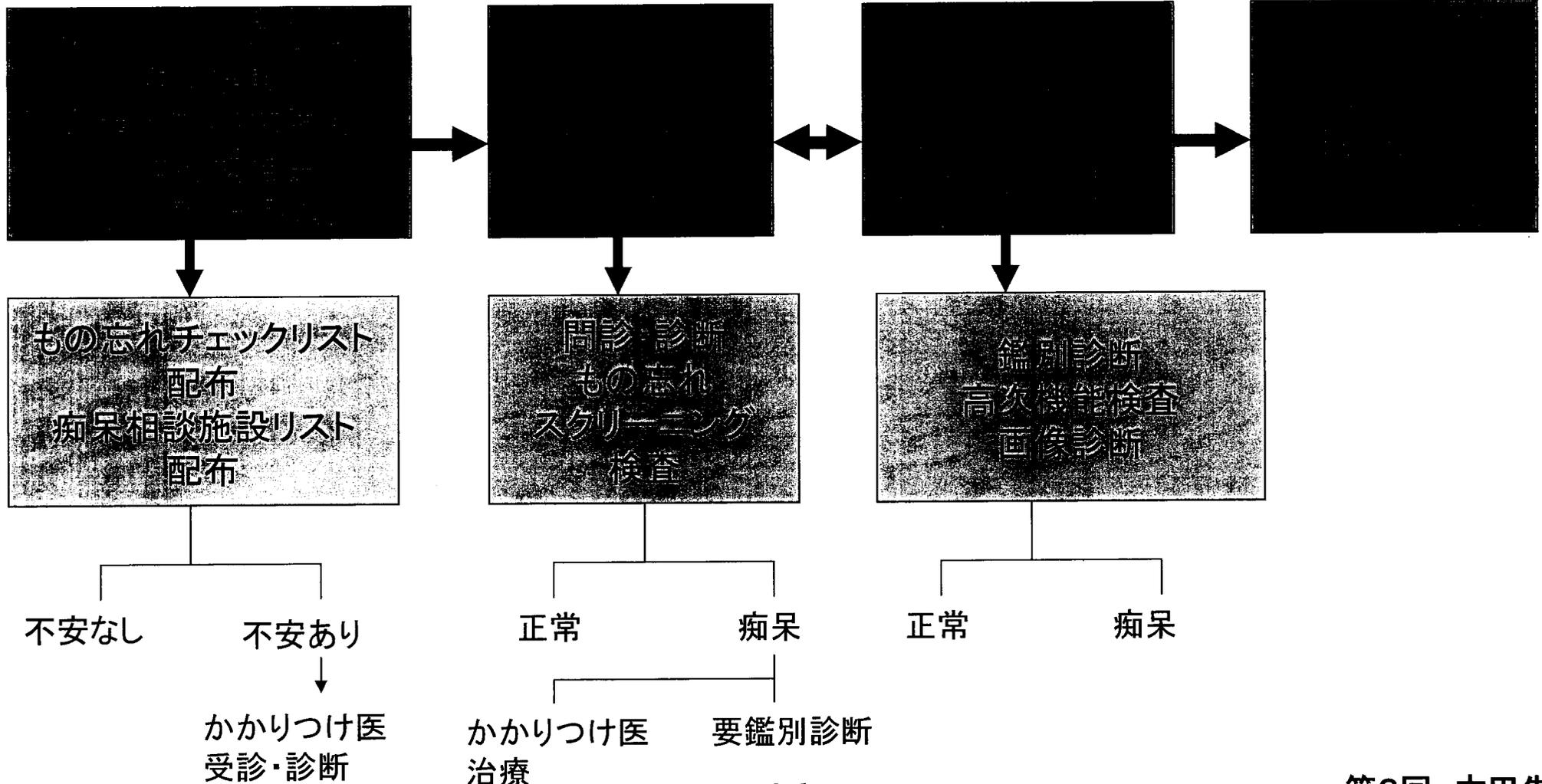
大府 痴呆総合支援ネットワーク

痴呆啓発・
スクリーニング

一次診断・治療

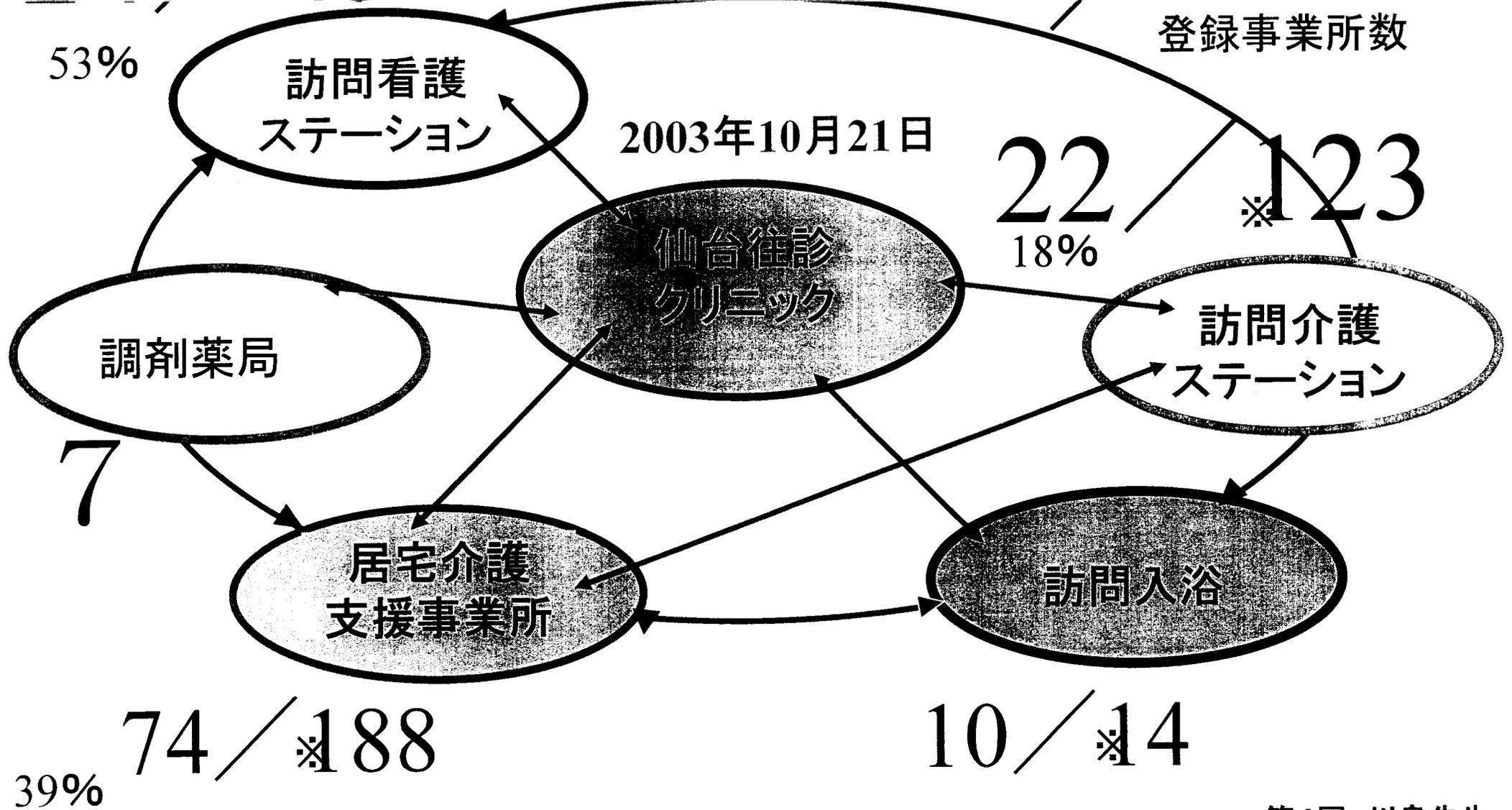
二次診断・治療

入院・入所



24 / ※45 連携事業所数

※平成15年4月仙台市登録事業所数



後期高齢者に対する歯科治療および口腔ケアの意義

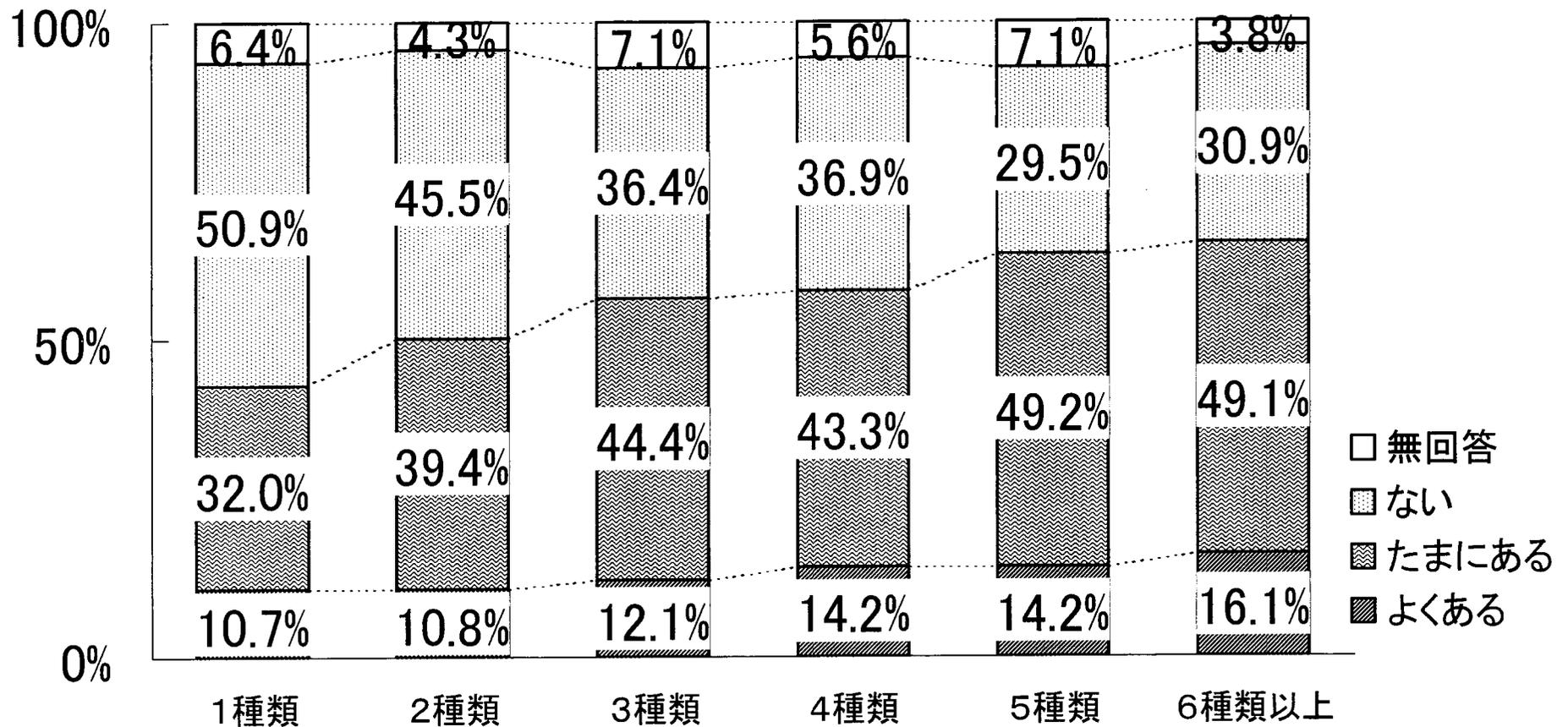
- 「食べること」と発話・表情などを通じた「コミュニケーション」を直接支える口腔機能は、人がその人らしく生きていくために欠かせない機能であり生涯における QOL の維持向上に深く関わる。
- 後期高齢者の口腔衛生状態の改善と咀嚼能力の改善を図ることが、誤嚥性肺炎の減少や低栄養および ADL の改善に有効であり、健康寿命の延伸に寄与する。
- 脳卒中患者への歯科的対応は、入院期間中の急性期からが効果的であり、しかもそれは入院期間の短縮につながる。
- 歯数が多く、よく噛めている高齢者ほど健康で総医療費が低いという調査結果が報告されており、高齢者の口腔機能を維持・増進することは、活力ある健康長寿社会を実現するために不可欠な課題の一つである。

- **高齢者の薬物療法では多剤併用が多く、重複投与や薬物相互作用が発現しやすく安全管理が重要。**
- **高齢者は、生理機能の加齢変化により、副作用、相互作用が発現しやすく安全管理が重要。**
- **急性期病院、療養型病床ともに、チーム医療の中で、薬剤師は薬物療法の安全管理機能を担っており、今後こうした職能を評価すべき。**
- **安全な薬物療法を推進するには、院内における職種間連携とともに、病院薬剤師と保険薬局の薬剤師の連携が重要となる。**

高齢者における医薬品の適正使用 と安全確保のために

- 地域における高齢者の医薬品の一元的管理が必須
 - どの医療機関(診療科)にかかっても、同一薬局を利用することで実現可能
 - 薬歴の活用
 - 訪問薬剤管理指導(在宅患者が対象)
 - 介護保険利用者については、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所(ケアマネジメント担当者)との連携

高齢者の薬の飲み残し(入院外)



処方されている薬の種類

出典：平成17年「高齢者と薬」全国老人クラブ連合会女性委員会モニター調査